

## 第6期東京都自立支援協議会の活動方針及び令和元年度協議事項について

## 第5期東京都自立支援協議会（平成29・30年度）について

- **テーマ** 都と地域の協議会活動の双方向性を強化し、東京都における地域課題を考える
- **協議事項** 平成29年度：東京の協議会活動がさらに機能するために何が必要か  
平成30年度：東京の協議会活動を活性化させる情報発信・情報収集の仕組み作り
- **交流会・セミナー・動向集での取組（平成30年度第2回本会議より）**

交流会	セミナー	動向集
<p>○インパクトのあるテーマで良かった。</p> <p>○形骸化した地域自立支援協議会が多い中、部会で出された意見や地域課題を全体会で共有し、次のステップへ進めていくことを意識付ける機会になった。</p> <p>○参加者が少ないことが残念 交流会に参加し、他区市町村の良い取組を知っても、自分の地域で共有できる人がいない。自分の自治体で活かしきれない。</p> <p>○参加する区市町村が固定化している。 各区市町村の自立支援協議会のメンバーに来てほしいということを前面に出し、広報していけるといいのではないかな。</p>	<p>○大変好評で、良かった。</p> <p>○地域自立支援協議会で活かしてほしいと企画したことが達成できたのではないかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者に直接発言していただくこと</li> <li>・フロアとのやりとりを取り入れること</li> <li>・当事者の方が生活する上で困っていることや地域移行に当たって助かったことを聞く 等</li> </ul> <p>○身近な自治体では、当事者は近すぎて呼びにくい。広域的な自治体として、当事者を呼ぶセミナーを行う意義があるのではないかな。</p> <p>○基調講演は、議論を進める上での呼び水的な話で良かった。</p>	<p>○各地域自立支援協議会の取組を比較するという意味で、非常に意義がある。</p> <p>○発行部数が少ない。 東京都自立支援協議会の委員になって初めて、動向集の存在を知った人もいます。今後は、ホームページ掲載後、各地域自立支援協議会でダウンロードし、議論の材料にしてもらう等、動向集の使い方を考えていけると良いのではないかな。</p>

## ■ 第5期の取組と第6期に向けて（平成30年度第2回本会議より）

- 都と地域の双方向性を意識して、取組を進められたことは良かった。
- 各区市町村の地域課題のうち広域の課題を吸い上げて、東京の課題として取りまとめていくための議論が不足していたのではないか。
- 地域自立支援協議会とのやりとりを深め、リアルな情報を引き上げると同時に、東京都自立支援協議会の取組や検討した内容を返していくキャッチボールが、もっと柔軟に、効果的にできれば良かった。
- 当事者性、地域生活・地域移行については、今後もしっかりと追求していけるといいのではないか。
- 東京都の「障害者への理解促進及び差別解消の推進に関する条例」について、合理的配慮の提供が義務になったことの都民への啓発や、障害当事者自身が差別されていることや困っていることを自覚し、社会への発信をサポートしていく場や仕組みがあれば良かった。
- 今後は、医療と福祉の連携、障害の重度化・高齢化、防災などについて、さらに考えていかなければならないのではないか。



## 第6期東京都自立支援協議会の活動方針 及び 令和元年度協議事項について

### ■ 第6期のテーマ（案）

都と地域の協議会活動における情報共有を促進し、当事者とともに東京の協議会活動を活性化させる

#### 活動の方向性

- 地域自立支援協議会のリアルな情報（地域課題や課題解決に向けた創意工夫等）を収集し、各地域自立支援協議会と情報共有する。
- 交流会・セミナー・動向集（ホームページ）等のツールを活用した、積極的な情報発信を行う。
- 各委員による、地域自立支援協議会や活動のフィールドでの情報収集・情報発信

#### 実施策

- 本会議の他、交流会、セミナー、動向集を活動の柱とする。
- 地域自立支援協議会や各委員が持ち寄る地域課題等から全都的なものを選定し、年間の協議事項とする。  
交流会、セミナー、動向集の調査は、年間の協議事項を踏まえた内容で実施する。
- 第5期同様に、各委員による実行委員体制とし、交流会、セミナー、動向集の企画から関与する。

### ■ 令和元年度協議事項（案）

当事者の声を反映させた協議会活動を考える